

モグラの生態、被害形態とその対策



写真はアズマモグラ
ウィキペディア（フリー百科事典）より引用

国内に生息するモグラの種類

分類：食虫目 Insectivora トガリネズミ形目
無盲腸目、モグラ目

種名	生息地域
コウベモグラ	関西以南 富士山から金沢市に引いた境界線より南に生息
アズマモグラ	関西以北 富士山から金沢市に引いた境界線より北に生息
サドモグラ	佐渡島のみ
エチゴモグラ	越後平野のみ

★北海道にはモグラは生息しない

アズマモグラの生態的特徴

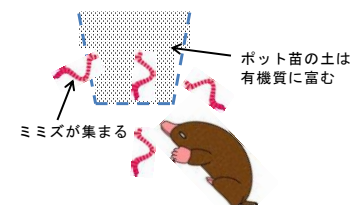
- 体長 12～15cm 尾長 1.8～2.3cm
体重 53g～107g
- 行動範囲は広く直径100m以上に達する。
- 他の個体の侵入を許さない・・・なわばり有
- 春1回繁殖し2～6頭の仔を巣で生む
- 完全な肉食
ミミズやコガネムシの幼虫、クモ、ムカデ等
土の中の生物を食べる
- たいへんな大食漢
1日に体重の約半分の重さのエサを食べる。
体重の半分・・・シマミミズ48匹分に相当
- 大量にエサを必要とするため、罠にかかっても餓死して
発見される可能性が大きい。

有機質に富んだ土にモグラは来る

- 有機質に富んだ土にはミミズ、昆虫が集まる
- モグラはミミズ、昆虫を食べに寄ってくる

ポット苗を定植すると

⇒苗沿いにモグラ道ができることも・・・

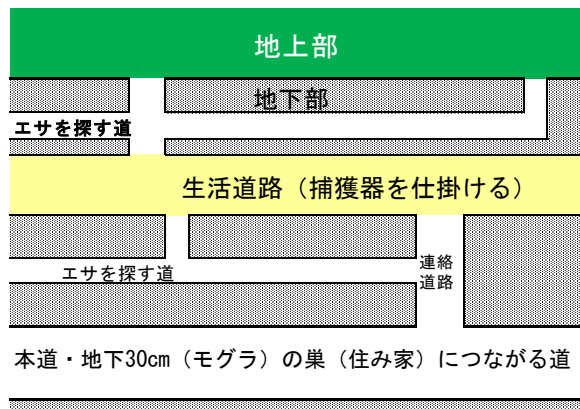


有機物に富む
アスパラ畑等は

モグラがエサを
求めて来る

モグラは捕獲で被害を防止

生活道路を見つけ捕獲器を仕掛けることがポイント



生活道路を探し捕獲器を仕掛ける

- 1、モグラの通った跡を耕起して壊す
 - 2、耕起したところを均平にする
 - 3、その上にコンパネ等の板をピッタリ置く
(板の大きさは1辺50～60cmで可)
(板は7～8枚/10a 板に番号を付けておく)
 - 4、翌朝、コンパネを上げモグラが通れば道がついている。
- ※この作業を3日間行い復活した道が生活道路

◎確実に生活道路を確認するには

- 1、復活した道路を川砂で埋める
- 2、埋めた道路のうち翌日も復活した道路は生活道路の可能性が高い。
そこに罠を仕掛けると捕獲効率がアップする

※この方法は、
独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構
近畿中国四国農業研究センター
で開発された技術です。

※別紙 近畿中四農研ニュースNO36 抜粋参照

- モグラは完全な肉食です。
- 有機物が豊富でミミズ等の生物が多い場所に
⇒エサを求めて来ます。
- 「生活道路を板きれ」で見つけ捕獲器で捕獲！！

◎もぐら退治に参考となる本
「モグラ おもしろ生態とかしい防ぎ方」
著者：井上雅夫、秋山雅世
発行所：一般社団法人 農山漁村文化協会



ご清聴ありがとうございました

長野県農業技術課 野菜花き試験場駐在
鳥獣害担当専門技術員 岡部知森
TEL 0263-52-3611 FAX 0263-54-4508
E-mail: okabe-tomoyasu@pref.nagano.lg.jp